昭和27年（1952年）4月21日（木曜日）【第5514号】

磐城日日

新聞定価一カ月60円 一部3円（休刊月曜）

可郵便物第三種郵便物認可

日平送電線起工式

内ヶ崎社長の鍬入れ

磐崎村藤原で盛大に挙行

常磐地域産業の原動力として待望の日和山＝平十五万ボールト送電線の起工式は二十三日午前十一時より磐崎村藤原變電所敷地に於いて内ヶ崎東北電力社長、間瀬仙台通産局長、高橋公益委仙台支局長、大竹知事、運沼縣會議長その他地元關係者大口需要工場關係など百五十余名參集の上行われた、起工式は變電所敷地に於いて内ヶ崎東北電力社長の鍬入れにて行つた次いで磐崎小学校に至り加賀谷所長の式辞に續いて内ヶ崎社長の挨拶、大竹知事、運沼縣會議長、日平線期成同盟会石城支部長大越常磐炭礦社長らの祝辞があつた

工事は今月早々より開始しており、すでに基礎工事に當つているが、この工事は全國でも最初の試みであるパトロールカーによる無電連絡が使用されまた当初は第二期工事として予定されていた變電所建設も近く着工することになり日平線と平行して建設される

豊間中學落成式

一ヶ年繼續で完成

豊間町薄磯字南町地内に建築中であつた豊間中学はこのほど竣工し快晴に恵まれた昨二十三日午前十時よりに四家町長を始め關係者、その他有志多数參集して落成式を盛大に擧行した

新裝なつた豊間中學は風光明眉な海岸に近接した地にあり、敷地一千五百七十四坪、工費一千三百五十八萬八千六百三十六圓を要し、高久村山木屋土建工業部（志賀季三郎氏）が請負い昨年より二カ年計画を以て工事を續行してきたものである校舎は建坪五百七十四坪木造モルタル塗り二階建普通教室一三、特別教室七の内外觀ともに地方に秀れた校舎である

縣下の判事

小名濱視察

福島縣下の裁判官約五十名は來る二十九日地裁平支部に於て事務打合せを行うが、終つて小名浜に來町、日本水素小名浜工場、小名浜測候所、小名浜港及び魚市場等の視察をなす

錦中學校で

PTA總會

錦町中学校PTA總会は十八日午後一時より同校講堂に於いて開き前年度の決算報告、本年度事業計画、役員の改選を行つた結果會長＝山野邊良助副会長＝高木梅作、助川キヨ子、会計出邊孝輝氏らが決定した

伊達町村長

水素を見学

伊達地方の町村長蓬田英助氏ら二十七名は、二十二日午前九時から小名浜町日本水素工場の見学を行つた

植田で旅館

組合連合會

石城郡旅館組合連合会春季總會は來る二十八日植田町植田館に於いて開催役員の改選を行う二十六年度業務報告及び

小学校だより

小名浜第二小学校のPTA總会は明二十五日午前九時より全校講堂に於て開催され、二十六年の決算並に行事報告、二十七年度予算及び規約變更を審議、次いで会長、副會長、評議員の改選を行う

※植田町小学校PTA總會は來る二十六日午前九時より同校講堂に於いて開く

スト賛否の投票

開票は二十六日早曉

〝既報〟日本水素小名浜工場の労働關係反對と賃上げ要求の問題は二十二日午前十時三十分より會社側の要求によつて労組側より竹田組合長ら三役が代表となり再交渉を行つたが、会社側はあくまで二千二百圓（技能給、其の他の給を含めて）の線を固持して何等の進展をみせておらず、またも物別れとなり、その結果労組側では仝日午後零時を期してスト突入の賛否投票を開始した

投票は二十六日の午前零時に終了直ちに開票に移りその結果二十六日会社側に對してスト突入の通告をすることになつており、もし要求が入れられない場合は会社側と労組との間の労働協約による四十八時間（二十六、二十七日）を余裕時間として保留し二十八日より無期限ストに入ることになる

教育委員會で學校視察

小名浜町教育委員会（委員長木田谷平氏）では本二十四日町内の小中高校の教育視察を行う

小名濱地區のメーデー

五月一日のメーデーを目前に控え小名浜地區各労仂組合では來る二十六日午前十時より日本水素小名濱工場労組會議室に於て実行委員会を開き打合せを行うことになつたが小名浜地區の各参加労組は大体次の通りである

▽日本水素小名浜工場▽赤六五どんと一二五▽東北配電小名浜営業所及び發電所▽小名浜自由勞仂組合▽教員組合第八方部（小名浜、江名、泉、鹿島）▽小名浜臨港鐵道株式会社▽小名浜港灣運送株式會社▽磐城通運小名浜支店▽日本冷蔵小名濱工場▽日星製作所▽運輸省修築工事々務所

魚菜市況 23

【小名濱中央青果市場】

葉玉ねぎ三〜六ほうれん草二一〜六五人蔘二五〜三〇ごぼう四六〜六五里いも七〇〜一一五大根一〇〜四五馬鈴薯三〇〜四五にら四〜五、一〇竹の子一二〇〜一四〇さつま四五〜五五卵八、六〇〜九

【小名浜魚市場】

めぬけ二四〇さめさ一〇〇たこ一八〇ぎす二〇〇

新聞の話 ⑧

＝活字の大きさ＝

さて活字の大きさをあらわすには二つのやり方がある ポイント式と號數式がそれであり、號數活字というのは本木昌造の考えたものから發達し、ポイント活字は世界共通の方式である

まずポイントは活字の大きさの標準単位で歐米の過去の印刷物も標準活字をパイカと名づけ、パイカの十二分の一を一ポイントとしたもので一七三七年フランスのフールニエは外國でスモール・パイカと呼ばれる一〇、五ポイントの活字をもとにして五號活字としたものである、本木はこの五號を基本活字としてこれより大きな四號三號二號一號小さな六號七號の七種の活字を作つた、然し現在の新聞社で使用しているものは同じ號數で呼んではいても大分ちがつていて五、六八ポイントのものを普通五號といつて標準活字としている

＝文選より差替まで＝

たつた二六字の西洋文字に比べて日本の文字は当用漢字だけでも一八五〇字もある日本の文字、こうした字數の異いは單に印刷の世界だけではなく大きくいつて文化そのものの異いさえ生むおそれがある、ちようどタイプライターと活字鑄造機をいつしよにしたような機械ーライノタイプがモノタイプさえあれば、活字をひろうこともひろつた活字を組みあげるせわもない、わずかな字數のキー（鍵）を原稿どうりにたたくとひとりでにライノタイプなら新聞一行分だけの字が一本の活字になつて即座に出来あがる、これが外國のうらやましいほど簡単な印刷工場の風景である、ところが日本ではまず何千種類というたくさんな活字をならべておく廣い場所が必要とされ、つぎには原稿どうりに活字をひろう文選、ひろつた活字を小ぐみにする植字、まちがつた活字をとりかえる差替え、こうした復雑な工程がまつている

さて最初の文選であるがこの廣い工場にはケース台といつて四〇度ぐらいに傾斜させてある台が、何列にも背なか合せにならんでいる、この台の上には活字ケース（箱）が何段にもたてかけられこのケースはさらに何段にも横にしきられ縦にもこまかくわけられているこの小さな一くぎりごとにちがつた活字がぎつしりとつめられている

文選係はこのケース台にむかい、原稿をみながら活字をひろい手にもつたゲラ箱にいれていく、普通一分間に平均三〇字ぐらいの早さで何千字という數の活字の中からこんな早さで思うように活字をひろうが人間の熟練というものは恐ろしいもので

然しこの早さも單になれるだけではこうまで早やくは出来ない、それには活字のならべ方が大へん関係している、つまり文選係があまり体を動きまわらないで手だけ動かせばよいように工夫されているのである よく使われる活字は手近かなところに、余り使われぬものは割合に遠くの方にならべてあり、このならべ方のよしあしによつてひろう早さに大きな影響があるとはいうまでもないどこの新聞社でも今までの経験を生かし研究を重ねてならべ方の工夫に努めている

こうしてひろいあげられた活字は次に植字係のところにまわる、こゝで原稿の指定通りに例えば一行十一字づめなら十一字ずつ一行にしながら小ぐみされる、そして短かい記事なら一くぎり、長いものなら幾つにも小ぐみされる

然し忙しくひろつた活字のことであり、どうしてもちがつた活字がくまれることがある、そこでこの小ぐみは小さな紙にかり刷されて校正される、原稿とかり刷とを調べ合せ原稿に二日とあるが三日となつていたり鎌倉ハムが鎌倉公だつたりしていることもあり校正も大へんな仕事である、こゝで直されたところは正しい活字をひろい、差替係がピンセット片手に差し替える、そしてまた二度目のかり刷り、時には三度も四度も一字の間違いもないところまで直すのである、これでいよ〳〵大ぐみにかゝるのであり校正された小組みで一ページの大きさに記事がくまれ、製版した寫眞が入り、廣告が入れられ最後の校正がすむと紙型をとるのである

預金と無盡 株式會社 大東相互銀行

自動三輪車 ダイハツ號 小名浜町 宮下商會 モーター部 電話一九八番 四五九番

春のスポーツシーズン來る 御用命は專門の大塚 ○各種運動具新型優秀品豊富に揃つて居ります ○野球ユニホーム、グランドコート 各種運動服裝 月星印運動靴各種 ○定評ある大塚の紳士靴婦人靴 塚 大塚 平市驛前大通り電77

春の呉服に春の洋品は 皆様の衣料品の店 正 さんかんや 小名浜町電話四六二 新柄物色々取揃えて御座居ます

へ家要需接直ラカ場工造製 ポンプ 1吋ヨリ 6吋マデ 捲揚機 10馬力 15馬力 機械と工具と電氣 ベアリング・プーリー・ベルト 在庫豊富 平市大通り 佐藤鐵工販賣部 電731 工場平市月見町 佐藤鐵工所 電362

仕奉大値の安の品荷入良最 御買徳品 キヤラコYシヤツ 298.00 ポプリンYシヤツ 345.00 特製名入 398.00 トリコット子供服 140.00 〃 150.00 〃 180.00 在庫豊富 綿生地は御買時と存じます。三桃、其の他澤山入荷致して居ります 小名濱 越藤 電561

日刊（除月曜）【1】　昭和25年10月6日第三種郵便物認可　昭和26年7月19日運輸省特別承認扱第684號　**警城日日**　昭和27年（1952）4月24日（木曜日）　第513号

水産福島の榮譽を担う 獨航船いよ〳〵壯途へ

日康、太洋の兩船出港

既報 講和發効の二十八日を期して待望の北洋漁場のサケ、マス操業に參加する縣下四隻の獨航船は乘組員、船具、船体の裝備も完了し出動を待つていたが、これが先陣を切つて江名町では昨二十三日午前十一時より江名町役場に於て第八日康丸（佐藤鶴松氏所有）乘組員十八名並びに太洋丸（太貞雄氏所有）十五名の大壯行會を行つた、當日は縣より知事代理及び縣水産關係係員、遠山海上保安部長、香野小名浜海運支局長、中田町長、吉田助役、各町會議員及び船主多數の列席があり乘組員に対して力強い激勵の辭を贈つた

なお太洋丸は仝日午後四時中の作港を出港勇躍壯途にのぼつた、第八日康丸は本二十四日午前八時函館港に向つて出港する二十六日の主將会議まで③主將会議は二十六日午後七時より一小應接室④賢費は三百圓

なお申込は兩方とも小名浜野球協会宛で球場は一中、二中の校庭を使用することになつている

小名浜地署の運動目標

小名濱地区署では二十一日から行われた春季交通安全旬間に臨み、本運動の目標である「對面交通」と「踏切事故の絶滅」の二つに重点をおき踏切における交通整理違反者の啓蒙指導と右側通行勵行徹底に留意し、これらに基く事故の一掃に万全を期している

愛犬の捜査願

松田病院

小名浜町辰巳町松田病院（松田武一氏）では二十日午後三時頃自宅附近に於て飼育中の生後二ヵ月を經たセパート犬が行方不明となり、二十三日小名浜地區署へ捜査方を依頼した

特長は毛なみが茶褐色で熊のように咽喉に三日月形の白毛と四肢の先が白い

前記時刻頃、泉中学の學帽を被つた生徒に親が附添い愛犬を抱いていつたのを見かけたという人もあるが、心当りの方は松田醫院又は小名浜地区署に届出るようのぞんでいる

泉ひばり子供會

防犯強化運動協力

泉村ひばり子供會では小名濱地區署に於いて目下實施している春の防犯強化運動に協力して、二十日「みんなで防犯明るい社會」と赤く染め抜いた幕をオート三輪車に張りめぐらし田邊知代（中三）吉田政江（中一）吉田久美子（中一）龍内和子（小六）の四代表が乘車して午前中は泉村午後小名浜町を一巡し、マイクを通して道行く人々に防犯心得を放送防犯思想の普及に努めた

第五稻荷丸網を流失

小名浜町上町御代龜太郎氏所有の底曳第五稻荷丸（四五トン）は二十日午後六時ごろ双葉郡富岡町約三五〇マイルの沖合にて操業中漁網を流し二十一日地元漁船十二隻が捜査のため應援に出動した

馬が自動車に衝突

（草野）

二十日午後六時五十分頃草野村下神谷農作田実（五二）さん方の仕事を手傳つていた同村農鹽政弘（四二）さんは作田さんの荷馬車に下神谷地内國道で材木積込み中、平方面より走つてきた平市田町合同タクシー㈱運轉手鈴木晃明さん㈱に馬がおどろいて暴れ出し同ハイヤーに衝突して右前足と後足を折つた

魚市場で自轉車盗まる

小名浜元分鮮魚商鈴木仁一郎（五一）さんは二十二日午後六時頃魚市場に於て中古運搬用自轉車一台時價一万四千圓相当を盗まれた

中學生の窃盗團擧がる

湯本地區署では去る二月二日より四月にかけて湯本町内の洋品店、呉服屋等を頻々として荒し廻つていた犯人について内偵中のところ十九日に至り湯本中学及び雷常磐中學の生徒等八名の少年窃盗団を容疑者として一齊検擧したが、この少年らは二、三人一組となり連絡をとりながら前後二十三回に亘り、仝町三函小野王崎吳服店より男物足袋二足仝町箱崎履物店より雨傘二本、ゴム靴二足、仝町大黒屋よりコーモリ一本反物十六反、ズボン一着仝町八仙鈴木洋品店より男物ズボン三着、仝町向田相馬洋品店より女物雨靴一足、仝町三函比佐宏平さん方よりズボン四着仝町若松呉服店より布團地二反キャラコ一反、サラシ布地三ヤール、仝町吹矢時計店より電氣アイロン一個、電熱器一個、仝町三函箱崎呉服店より木綿の反物六反、仝町天王崎青柳履物店より地下足袋四足等計五十二点二萬圓相當の窃盗を働いたものである

贈賄で逮捕

底なし植田營林署の汚職

植田町營林署汚職事件は日を追つて進展しているが、二十三日川部村薪炭業加茂勝夫（五一）を贈賄容疑で逮捕した

加茂は二十六年三月頃植田町營林署收獲係長菊地義男に三千円を贈賄したものである

また田人村綠川喜清（四三）は二十六年十月頃同營林署佐藤正春に三千圓更に若松營林署福見一眞（四七）に三千円をそれ〴〵贈つたもので綠川は書類送檢、福見は身柄を送檢された

天氣予報 24

（本日）北西の風で曇勝ちの天氣ですが時々晴間もありましょう

（海上）沖合は北西によつて稍風波がありましょう

二中學生を表彰

犯人逮捕で植田署より

植田町字金畑二〇佐藤太造（一五）同町佐藤光夫（一三）同町金畑五七久住政行（一五）の植田中学生三君は去る四月十四日植田町金畑大昭炭礦脇作業場より鐵板二十貫を盗み八〇〇圓で古物商に賣却し二人でやま分けしている山村少年A、Bを逮捕して植田地區署に引渡したため二十一日植田地區署長より金一封を添えて表彰された

倉庫より被覆線盗まる

小名浜町浦一番地電機工事請負業誠電社（田中文雄氏）では二十日午後七時から二十一日午前七時までの間、附近の中崎氏より一時借用していた物置の鍵をまじあけて被覆電線約十九貫久九十三百圓相當を何者かに窃取され小名浜地區署に届出た

日本の山々 ⑤

植林と愛林

山の木が如何に大切であるかは前述の通りであり山に木を植えることに國民は協力せねばならない中華民國や朝鮮の山にハゲ山の多いのは昔から木を伐るだけで植林をしなかつたからといわれている、木を伐つたときはそれ以上に木を植えるようにしなければ自然ハゲ山になつてしまう、それでは山に木を植えれば放つておいてもよいかやはり手入が第一である

小さい時には毎年下草を刈つてそれを肥料にしてやる、雪の下になつて倒れると春になつてからこれを縄で引つぱり起してやる、それから下枝を伐つてやる、虫などにつかれないように注意する等こうした努力が報いられて初めて大きくなるのである

木は三十年も四十年もたゝなければ使い物にならない、然し必要な木材の量は年々多くなつている

日本の大部分の家屋は木造であり、そのほかに必要な木材は數限りない程ある、從つて植林は計画的に行わなければならない

また植林とともに愛林も必要である、さくら狩などに行つて大きな枝をもち歸つてくるような人をよく見受けるが、こんな人達は愛林精神のない人達である、花も紅葉もそこにあるものを見て樂しむのが本当で家に持ち歸つて眺めるなどは自然を愛する心のない人である

日本アルプス

日本アルプスの名づけ親

①御嶽火山帶…御嶽、乘鞍 燒岳の三火山を連ねるもの

②槍ヶ岳山脈…穗高岳から槍ヶ岳、三石連華、笠ヶ岳に至るもの

③立山火山帶…三双連華から西北黒部五郎、藥師立山に至るもの

④黒岳山脈…鷲羽岳、赤岳、黒岳などを連らねるもの

⑤後立山山脈…野口五郎岳から鳥帽子岳、蓮華岳、針の木岳、鹿島槍岳、白馬岳と連ねて日本海に至る

⑥常念山脈…德本峠から蝶ヶ岳 常念丘、大天井丘、燕丘 有明山に至るもの

北アルプスの最高峰は奥穗高丘の三千百九十米で三千米以上の山は九つほどある 北アルプスの持ちようは岩が多く夏は雪渓も、残つておりお花畑も美しいので登山者は多い中でも槍ヶ嶽、白馬岳、立山、燕嶽は最も脈わい穗高嶽、劍嶽は嶮しい岩峰であるため經驗の深い登山家が岩登りをなす、また御嶽は信仰の山として白衣の行者達の登山者が多い

㈱南アルプス㈱

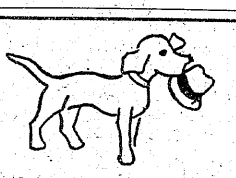
赤石山脈と白峰山脈 甲斐駒山脈をいうのであり南アルプスの最高峰は富士山に次ぐ日本第二の高山白峰北岳の三千百九十四米で三千米以上の山が九つもあり、高いことに於いては北アルプス以上であり高いところまで森林になつており岩峰が少なく、雪も少ない、それに鐵道から遠いために登山者も北アルプスに比べて非常に少ない

㈱中央アルプス㈱

南は惠那山から起り、木曾川をへだてて御嶽火山帶と並行して北東に走り木曾駒ヶ丘から鳥居峠に至つている

最高峰は駒ヶ丘の二千九百五十六米でそのほか高い山はない、南北兩アルプスに比べ、平凡であるため登る人も少なくわずかに駒ヶ嶽が少し賑う程度である

……▽……△……



白生地大暴落

3月31日が最底値でした 毎日少しづつ高くなつてます 當店には底値品がまだ在庫してあります

遠足に運動靴 リュクサック

学生服 小學生より 高校生服迄 セーラー服 一年生より 高校生まで 特別最新入荷安値

学生帽KO型 130円より 350円まで

手提鞄（男女学生用） 370円より1200円迄

ボストン鞄2000まで

小名浜第二小學校前

皆様の店 平マーケット

電話297番

経費をかけずに良い品安く

土地付賣家

場所 日本水素正門前

格安御相談に應ず

御希望のかたは本社迄御越し下さい

大衆食堂 味の天満屋

うどん、やぶそば

鮮魚折詰仕出し

出前迅速

小名浜町中島（清水屋隣）

電話四一七番

御披露目

このたび小舟が智住にまいりました 浜の皆様に心からサービス致したいと張切つて居ります どうぞ御ひいきにお願いします

小名浜中明神町

智住

電話四三一番

仕出し壽

うなぎ丼・うなぎ辨當

大蒲燒 初めました

栄養満点